

衛生管理技計算問題 NO1

- 問題 1 理容師施行規則・美容師施行規則の規定に基づいて、10%逆性石けん液を希釈して0.1%逆性石けん水溶液3ℓを調製する場合、必要な水の量は次のどれか。
- ① 3300ml
 - ② 3030ml
 - ③ 2970ml
 - ④ 2700ml
- 問題 2 次のうち、99.5%のエタノールを希釈して80%のエタノール水溶液を1ℓつくる場合に必要な水の量はどれか。
- ① 196ml
 - ② 180ml
 - ③ 200ml
 - ④ 150ml
- 問題 3 血液の付着していない器具や布片の消毒に用いる、消毒薬使用液の調製法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液は、5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlを水995で希釈する。
 - ② 0.01%次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、5%次亜塩素酸ナトリウム製剤1mlを水499mlで希釈する。
 - ③ 0.1%両性界面活性剤水溶液は、10%両性界面活性剤製剤10mlを水90mlで希釈する。
 - ④ 0.1%逆性石けん水溶液は、10%逆性石けん製剤5mlを水95mlで希釈する。。
- 問題 4 消毒薬の使用液(希釈液)の調製に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 10%次亜塩素酸ナトリウム製剤10mlを水990mlで希釈すると、0.01%次亜塩素酸ナトリウム水溶液ができる。
 - ② 10%逆性石けん製剤5mlを水995mlで希釈すると、0.1%逆性石けん水溶液ができる。
 - ③ 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤10mlを水990mlで希釈すると、0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液ができる。
 - ④ 10%両性界面活性剤製剤1mlを水999mlで希釈すると、0.1%両性界面活性剤水溶液ができる。
- 問題 5 消毒薬使用液の調整に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlを水495mlで希釈すると、0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液ができる。
 - ② 10%両性界面活性剤製剤10mlを水990mlで希釈すると、0.1%両性界面活性剤水溶液ができる。
 - ③ 5%次亜塩素酸ナトリウム製剤10mlを水490mlで希釈すると、0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液ができる。
 - ④ 10%逆性石けん製剤5mlを水995mlで希釈すると、0.1%逆性石けん水溶液ができる。
- 問題 6 理容師法施行規則・美容師法施行規則に定められている消毒薬の使用液(希釈液)調整法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液は、5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤の1mlを水99mlで希釈する。
 - ② 0.1%両性界面活性剤水溶液は、10%両性界面活性剤の1mlを水99mlで希釈する。
 - ③ 0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、10%次亜塩素酸ナトリウム製剤の10mlを水4990mlで希釈する。
 - ④ 0.1%逆性石けん水溶液は、1%逆性石けん製剤の100mlを水900mlで希釈する。
- 問題 7 消毒薬使用液(希釈液)の調製法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液は、5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤の5mlを水95mlで希釈する。
 - ② 0.1%両性界面活性剤水溶液は、10%両性界面活性剤製剤1mlを水99mlで希釈する。
 - ③ 80%エタノール水溶液は、無水エタノール20mlを水80mlで希釈する。
 - ④ 0.1%逆性石けん水溶液は、10%逆性石けん製剤10mlを水90mlで希釈する。
- 問題 8 消毒薬使用液の調製法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液は、5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlを水95mlで希釈する。
 - ② 80%エタノール水溶液は、無水エタノール20mlを80mlで希釈する。
 - ③ 0.01%次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、5%次亜塩素酸ナトリウム製剤1mlを水999mlで希釈する。
 - ④ 0.1%逆性石けん水溶液は、10%逆性石けん製剤10mlを水990mlで希釈する。

衛 生 管 理 技 計 算 問 題 NO2

- 問題 9** **消毒薬使用液の調製法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。**
- ① 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液は、5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤1mlを水99mlで希釈する。
 - ② 0.01%次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、5%次亜塩素酸ナトリウム製剤1mlを水999mlで希釈する。
 - ③ 0.1%両性界面活性剤水溶液は、10%両性界面活性剤製剤5mlを水495mlで希釈する。
 - ④ 0.1%逆性石けん水溶液は、10%逆性石けん製剤10mlを水990mlで希釈する。
- 問題 10** **消毒薬使用液の調整法に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。**
- ① 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液1000mlを作るには、5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤10mlを水990mlで希釈する。
 - ② 0.1%両性界面活性剤水溶液1000mlを作るには、10%両性界面活性剤10mlを水990mlで希釈する。
 - ③ 0.01%次亜塩素酸ナトリウム水溶液1000mlを作るには、10%次亜塩素酸ナトリウム製剤1mlを水999mlで希釈する。
 - ④ 0.1%逆性石けん水溶液1000mlを作るには、10%逆性石けん製剤5mlを水995mlで希釈する。
- 問題 11** **消毒薬使用液の調整に関する次の文章の()内に入る数字の組み合わせのうち、正しいものはどれか。**
「グルコン酸クロルヘキシジンを5%含有する市販製剤(消毒薬)を用いて、0.05%の水溶液を作るには、市販製剤(A)mlを、水(B)mlで希釈すればよい。」
- | | | |
|------|-----|--|
| A | B | |
| ① 1 | 999 | |
| ② 5 | 995 | |
| ③ 10 | 990 | |
| ④ 15 | 985 | |
- 問題 12** **消毒薬使用液(希釈液)の調整法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。**
- ① 10%逆性石けん製剤50mlに水を加えて、0.1%逆性石けん水溶液を500ml調整した。
 - ② 20%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlに水を加えて、0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液を1000ml調整した。
 - ③ 5%次亜塩素酸ナトリウム製剤10mlに水を加えて、0.01%次亜塩素酸ナトリウム水溶液を500ml調整した。
 - ④ 10%両性界面活性剤10mlに水を加えて、0.1%両性界面活性剤水溶液を1000ml調整した。
- 問題 13** **消毒薬使用液(希釈液)の調整に関する次の文章の
内に入る数字の組合せのうち、正しいものはどれか。**
「微赤桃色に着色されたA%グルコン酸クロルヘキシジン製剤を用いて、規則で規定している0.05%の使用液を1ℓ調整する場合の計算量は、Bmlと水Cmlである。」
- | | | | |
|------|----|-----|--|
| A | B | C | |
| ① 5 | 5 | 995 | |
| ② 5 | 10 | 990 | |
| ③ 20 | 15 | 985 | |
| ④ 20 | 20 | 980 | |
- 問題 14** **消毒薬使用液(希釈液)の調製に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。**
- ① 15%両性界面活性剤を100倍に希釈して、0.1%の水溶液を作った。
 - ② 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlを水95mlで希釈して、0.05%の水溶液を作った。
 - ③ 5%次亜塩素酸ナトリウム液を100倍に希釈して、100ppmの水溶液を作った。
 - ④ 5%次亜塩素酸ナトリウム液2mlを水998mlで希釈して、0.01%の水溶液1ℓを作った。
- 問題 15** **美容師法施行規則で規定されている消毒薬使用液(希釈液)の調整法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。**
- ① 0.1%逆性石けん水溶液を1ℓ調整するには、10%逆性石けん製剤1mlを水999mlで希釈する。
 - ② 0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液を2ℓ調整するには、5%次亜塩素酸ナトリウム20mlを水1980mlで希釈する。
 - ③ 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液を500ml調整するには、5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤1mlを水499mlで希釈する。
 - ④ 0.1%両性界面活性剤水溶液を500ml調整するには、10%両性界面活性剤製剤5mlを水495mlで希釈する。

衛生管理技計算問題 NO3

- 問題 16 消毒薬使用液(希釈液)の調整法に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。
- a 0.2%逆性石けん水溶液500mlを調整するためには、10%逆性石けん液10mlが必要である。
 - b 0.1%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液500mlを調整するためには、5%グルコン酸クロルヘキシジン液5mlが必要である。
 - c 0.05%次亜塩素酸ナトリウム水溶液250mlを調整するためには、5%次亜塩素酸ナトリウム5mlが必要である。
 - d 0.2%両性界面活性剤水溶液250mlを調整するためには、10%両性界面活性剤溶液5mlが必要である。
- (1) aとb (2) bとc (3) cとd (4) dとa
- 問題 17 消毒薬使用液(希釈液)の調整法に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 5%次亜塩素酸ナトリウム製剤を50倍に希釈した液は、0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液である。
 - ② 0.1%逆性石けん水溶液は、10%逆性石けん製剤を50倍に希釈したものである。
 - ③ 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤を50倍に希釈した液は、0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液である。
 - ④ 0.1%両性界面活性剤水溶液は、15%両性界面活性剤製剤を50倍に希釈したものである。
- 問題 18 消毒薬使用液(希釈液)の調製法に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせはどれか。
- a 0.1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液1000mlを作製するためには、5%次亜塩素酸ナトリウム製剤20mlに水980mlを加える。
 - b 10%逆性石けん製剤10mlに水990mlを加えて作製した液は、0.1%逆性石けん水溶液である。
 - c 0.2%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液500mlを作製するためには、20%グルコン酸クロルヘキシジン製剤10mlに水490mlを加える。
 - d 10%両性界面活性剤製剤5mlに水495mlを加えて作製した液は、0.2%両性界面活性剤水溶液である。
- (1) aとb (2) bとc (3) cとd (4) dとa
- 問題 19 消毒薬使用液(希釈液)の調整に関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。
- ① 0.1%逆性石けん水溶液は、10%逆性石けん製剤を100倍に希釈する。
 - ② 0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液は、20%グルコン酸クロルヘキシジン製剤を400倍に希釈する。
 - ③ 0.1%両性界面活性剤水溶液は、15%両性界面活性剤製剤を100倍に希釈する。
 - ④ 0.01%次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、5%次亜塩素酸ナトリウム製剤を500倍に希釈する。
- 問題 20 消毒薬使用液(希釈液)の調整に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。
- ① 10%逆性石けん製剤10mlで調整できる0.1%逆性石けん水溶液は、2000mlである。
 - ② 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlで調整できる0.05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液は、5000mlである。
 - ③ 5%次亜塩素酸ナトリウム製剤5mlで調整できる0.01%次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、500mlである。
 - ④ 15%両性界面活性剤製剤10mlで調整できる0.1%両性界面活性剤水溶液は、1500mlである。

衛生管理技計算問題 NO4

問題 21

消毒薬使用液(希釈液)の調整に関する次の記述の()内に入る数字の組合せのうち、正しいものはどれか。
「グルコン酸クロルヘキシジン」を5%含有する市販製剤(消毒薬を用いて、(A)%の水溶液を作るには、市販製剤10mlを水(B)mlで希釈すればよい。」

- | | A | B |
|---|------|-----|
| a | 0・05 | 995 |
| b | 0・1 | 490 |
| c | 0・2 | 240 |
| d | 0・25 | 195 |

(1) aとb (2) bとc (3) cとd (4) dとa

問題 22

消毒薬使用液(希釈液)の調整に関する次の記述のうち、法令の規定に適用しないものはどれか。

- ① 10%逆性石けん製剤の10mlを水990mlで希釈する。
- ② 15%両性界面活性剤製剤の5mlを水495ml希釈する。
- ③ 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤の1mlを水99mlで希釈する。
- ④ 5%次亜塩素酸ナトリウム製剤の1mlを水999mlで希釈する。

問題 23

血液の付着していない、あるいはその疑いのない皮膚に接する器具の消毒薬使用液(希釈液)の調整に関する次の記述のうち、使用液濃度として適合しないものはどれか。

- ① 10%逆性石けん製剤5mlを水495mlで希釈する。
- ② 15%両性界面活性剤製剤10mlを水990mlで希釈する。
- ③ 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤1mlを水499mlで希釈する。
- ④ 6%次亜塩素酸ナトリウム製剤20mlを水1180mlで希釈する。

問題 24

消毒薬使用液(希釈液)の調整法に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 0・1%逆性石けん水溶液は、10%逆性石けん製剤10mlに水990mlを加える。
- b 5%次亜塩素酸ナトリウム製剤5mlを水495mlで希釈すると、0・05%次亜塩素酸ナトリウム水溶液になる。
- c 0・05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液は、5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlに水995mlを加える。
- d 10%両性界面活性剤製剤1mlを水499mlで希釈すると、0・1%両性界面活性剤水溶液になる。

(1) aとb (2) bとc (3) cとd (4) dとa

問題 25

消毒薬使用液(希釈液)の調整に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 10%逆性石けん液5mlに水を加え、0・2%逆性石けん水溶液500mlを調整した。
- ② 20%グルコン酸クロルヘキシジン溶液5mlに水を加え、0・1%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液1000mlを調整した。
- ③ 0・2%両性界面活性剤水溶液500mlを調整するためには、10%両性界面活性剤は20mlが必要である。
- ④ 0・05%次亜塩素酸ナトリウム水溶液1000mlを調整するためには、5%次亜塩素酸ナトリウム溶液は20mlが必要である。

問題 26

血液の付着していない、あるいはその疑いのない皮膚に接する器具の消毒薬使用液(希釈液)の調整に関する次の記述のうち、使用液濃度として適合しないものはどれか。

- ① 10%逆性石けん製剤5mlを水495mlで希釈する。
- ② 15%両性界面活性剤製剤10mlを水990mlで希釈する。
- ③ 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤1mlを水499mlで希釈する。
- ④ 6%次亜塩素酸ナトリウム製剤20mlを水1180mlで希釈する。

問題 27

消毒薬使用液(希釈液)の調整法に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- a 5%次亜塩素酸ナトリウム製剤10mlを水490mlで希釈すると、0・1%次亜塩素酸ナトリウム水溶液になる。
- b 10%逆性石けん製剤10mlを水990mlで希釈すると、0・1%逆性石けん水溶液になる。
- c 5%グルコン酸クロルヘキシジン製剤5mlを水995mlで希釈すると、0・05%グルコン酸クロルヘキシジン水溶液になる。
- d 10%両性界面活性剤製剤5mlを水995mlで希釈すると、0・1%両性界面活性剤水溶液になる。

(1) aとb (2) bとc (3) cとd (4) dとa

問題 28

消毒薬の希釈方法に関する次の記述の()内に入る数値のうち、正しいものはどれか。
「5%次亜塩素酸ナトリウムを用いて0.1%の水溶液をつくるには、5%次亜塩素酸ナトリウム5mlに水を加えて()mlの溶液とする。」

- ① 100
- ② 250
- ③ 500
- ④ 1000

問題 29

消毒薬水溶液の調製に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

- ① 5%次亜塩素酸ナトリウムを50倍希釈して、0.01%水溶液を調製する。
- ② 10%逆性石けんを100倍希釈して、0.1%水溶液を調製する。
- ③ 20%グルコン酸クロルヘキシジンを200倍希釈して、0.05%水溶液を調製する。
- ④ 15%両性界面活性剤を150倍して、1%水溶液を調製する。

問題 30

次のうち、5%グルコン酸クロルヘキシジン10mlを水で希釈してグルコン酸クロルヘキシジン水溶液1,000mlを調製した場合の濃度はどれか。

- ① 0.01%
- ② 0.05%
- ③ 0.1%
- ④ 0.50%

問題 31

消毒薬の希釈方法に関する次の記述の()内に入る数値のうち、正しいものはどれか。
「5%次亜塩素酸ナトリウムを用いて0.1%の水溶液をつくるには、5%次亜塩素酸ナトリウムに5mlに水を加えて()mlの溶液とする。」

- ① 100
- ② 250
- ③ 500
- ④ 1,000

衛生管理技計算問題解答

問題 1	3
問題 2	1
問題 3	2
問題 4	3
問題 5	4
問題 6	3
問題 7	2
問題 8	4
問題 9	2
問題 10	4
問題 11	3
問題 12	4
問題 13	2
問題 14	4
問題 15	4

問題 16	4
問題 17	1
問題 18	1
問題 19	3
問題 20	4
問題 21	2
問題 22	4
問題 23	3
問題 24	1
問題 25	2
問題 26	3
問題 27	1
問題 28	2
問題 29	2
問題 30	2

問題 31	2
-------	---